
ドクターヘリ運用の実際

(小濱啓次. ドクターヘリ、東京、へるす出版、2003、p.41-46)

2012年5月25日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

1: ドクターヘリとは?

ドクターヘリとは、高度医療機関(救急救命センターなど)の敷地内に配備された救急医療専用のヘリコプターに救急専門医および看護師が搭乗し、出動要請3~5分以内に現場に出動し、現場及び搬送中に患者へ適切な診断・治療を施し、治療開始時間を早めることによって患者の救命率の向上や予後の改善を図るものである。

つまり搬送時間の短縮や患者の搬送を目的とする消防・防災ヘリコプターとは異なるものである。

2: ドクターヘリの効果

当然のことであるが、患者が重症であればあるほど早く処置を開始しなければ死亡率が増加する。つまり、医師が早く現場に到着し、治療を開始することができるドクターヘリのシステムが救急医療システムに必要となる。

3: ドクターヘリ導入のために

① 需要調査

ドクターヘリを導入しようとする地域(都道府県)において、30分以上を要して市町村外へ搬送された件数が年間どの程度あるかを調査する。年間500件を超える症例があれば、ドクターヘリの需要が十分あると考えられる。

② ドクターヘリ運営協議会の設置

都道府県の指導の下、ドクターヘリ運営協議会の設置が必要になる。さまざまな部署が連携して会を進めていくことが求められる。

③ ドクターヘリ基地病院(ドクターヘリ設置病院)

基地となる医療機関は、救急救命センターなどの第三次救急医療機関であることが原則。

さらに臨時場外離着陸上または非公共用ヘリポートを有する必要がある。

④ ヘリポートの選定と調査

航空機は飛行場以外は離着陸できない。そのため医療機関や消防機関の近くには臨時ヘリポートを確保する必要がある。ただし、消防や警察からの要請で安全が確認できれば、ドクターヘリは救急現場に離着陸できる。

⑤ 消防との協議

消防に説明会を行うとともに、救急隊員とドクターヘリとの連携訓練を各消防本部ごとに行うのが重要である。